

NETIS登録番号	技術名称	土間コンクリート沈下修正のためのウレテック工法			
QS-080007-A	副題	コンクリートの沈下による傾き・段差修正、空隙充填(荷重受替)を行なう工法			
分類1	建築	改修工事	キーワード: 環境、コスト縮減・生産性の向上、リサイクル		
分類2					
開発目標	経済性の向上、施工精度の向上、地球環境への影響抑制				
技術の位置付け	<input type="checkbox"/> 推奨技術	<input type="checkbox"/> 準推奨技術	<input type="checkbox"/> 活用促進技術	<input type="checkbox"/> 設計比較対象技術	<input type="checkbox"/> 少実績優良技術
特許	<input type="checkbox"/> 有り (特許番号:)			<input type="checkbox"/> なし	
技術賞、審査証明等	<input type="checkbox"/> ものづくり日本大賞 <input type="checkbox"/> 国土技術開発賞 <input type="checkbox"/> 学会賞 <input type="checkbox"/> 建設技術審査証明				
問合せ先	会社名	ウレテックジャパン株式会社		TEL	03-5878-9101
	住所	東京都江戸川区西葛西5-2-3 NEXTAGE西葛西ビル2F		E-MAIL	wakagi@uretek.co.jp
	担当者	若城 太郎			
実績件数 H26.8.31現在	国土交通省	その他の公共機関		民間等	
	12 件	92 件		1820 件	

技術概要: (300字以内)

- ①何について何をやる技術なのか?
コンクリートのタワミや段差を発泡樹脂を注入することで、空隙の充填(荷重受替え)および床版を支持上げて修正する技術。
- ②従来はどのような技術で対応していたのか?
i) 打替え工法(積載物などの移動。コンクリート床裁断。地盤再締固め。配筋。コンクリート打設。養生など。
ii) かさ上げ工法(沈下したコンクリート床版上にモルタル等を打設。)
- ③公共工事のどこに適用できるのか?
建築物(倉庫・学校校舎・体育館・公民館・消防署など)の土間コンクリート・耐圧コンクリートなどに適用。
踏掛版下の空洞、ボックスカルバート周りの空洞などに適用。コンクリート舗装版目地付近の段差の解消など。

記入欄

1. 建築 土間コンクリートの沈下修正工事例
材料圧縮強度 15t/m²
※材料の特性は下記の土木と同様です。



2. 土木 踏掛版下の空洞充填工事例(モルタル充填工法との比較)

- 材料圧縮強度 50t/m²
- 樹脂の膨張力で地盤を圧縮し、この圧縮分が将来の沈下を吸収し沈下抑制効果が期待できる。
 - 路面が持ち上がることを確認できるため、各注入点で地盤反力が得られたことが確認できる。
 - 注入を全箇所で行うと、踏掛版全面で荷重を支えられるため、地盤の単位面積当たりの荷重が軽減される。
 - 硬化時間が短く浸透や流出の恐れが少ない。また養生期間中の道路規制などの負担がほとんど必要がない。
 - 材料比重がモルタルの1/30程度と非常に軽く、充填材重量の追加による新たな沈下の影響がほとんどない。
 - 材料の注入孔(φ16)が小さく鉄筋切断の恐れがない。また補修跡もほとんど残らない。

